

自分というものをよく知ろう

・・・進路学習で自分の強みを考える

自分というものをよく知ろう

文理選択を考えるにあたっては、**自分はどんなことに興味を持っているのか、どんなことに向いているのかを把握できていること**、すなわち「自己を見つめる」ことも大きなポイントとなります。

自己を評価する・自己を知るポイントは右の絵のようにいろいろあります。言葉にしても「責任感がある」「物覚えがよい」「体力には自信がある」「礼儀正しい」「みんなをまとめる力がある」「物事に集中できる」「細かいところに気が付く」「誰とでも気軽に接することができる」など、あげればきりがありません。点数で評価される「学力」はそのうちの 1 つにすぎません。しかし学力は重要です。入試などを見ても分かるように、短期間で人間を判断しようとする、どうしても点数化しやすい部分を優先して評価せざるを得ないからです。そのことは押さえながらも、自分の中に潜んでいる、点数で評価できないようないろいろな力・可能性をどんどん発掘していきましょう。人間はみな、何かにおいては優れているところがあるはずですし、また何かにおいては劣っているにちがいないのです。

そして、もう 1 つ大切なことは、「人は自分そのものを自分の目で見ることはできない」ということです。すなわち、自分がどんな人間なのかを知りたいければ、自分のまわりの人の心の中に自分がどう写っているかを見るしかないということです。周りの人を大切に、自分が写っている「心」を見せてもらうことによって初めて真の自分が浮かび上がってくるのです。自分というものを、特に**自分の強みを知ったうえで文理選択**できることは大切です。まわりの人からの忠告・指摘・助言は自分の「盲点の窓」（他人は知っているのに自分が知らない部分）を開けるのに大いにプラスになることだと思えます。



定期考查を振り返ろう

初めての定期考查はどうでしたか。「学習法を学習する」のが高校 1 年生の目標ですから、点数がとれた、とれなかった以上に、学習法の軌道修正のために、定期考查を振り返ってほしいと思います。「もっと予習に力を入れないといけなかった」「小单元ごとに教科傍用問題集をやっておけばよかった」「眠いと頭に入らないので一度、朝型でやってみよう」など、きっと修正点が見つかるはずです。それを次、どう活かすかが一番大事です。そして、反省したこと、決意したことを「ポートフォリオ」に記録しておくといいいのです。

そして努力しているのに結果がでないことはよくあります。俗にスランプといいますが、スランプは努力している人しか体験できない貴重な一時期のことです。例えばジグゾーパズルをやるとしましょう。最初は全体像がまったくつかめない、周囲ぐらいしか埋ま

らずなかなか進みません。でもがんばってやっていくとそのうち全体像がつかめてきます。そうすれば「空」は「空」で集めよう、「家」は「家」で集めよう、「木」は「木」で集めようという作業をする気になり、いつの間にか空と家と木がつながって一枚の図柄となっていくという「はかどる段階」に突入します。断片的な知識でも、将来につながればすごい財産になります。例えば数学で絶対値がわからなくても、不等式がわかれば、将来、絶対値がわかり、つながる時期がきます。そう信じて分かる範囲を増やしていきましょう。

ポートフォリオとは

ポートフォリオとは書類を運ぶ平らなケースのことで、教育現場では、学習過程で残したレポートや試験用紙、あるいは活動の結果得られたものや活動の様子、感想等をファイルに入れるという形で保存したものをいいます。みなさんはすでに、タブレットを手にしていますので、「ポートフォリオ」というフォルダを作り、電子データの形で、

①進路ニュースや進路関係補足資料

②学習のレポート、模試のカルテや定期試験の振り返り、担任の先生との面談カード、取った資格の証明書のコピーや部活動の試合結果のコピー、海外留学の日程表のコピー、大学の H P に記載されているデータのスクリーンショットなど（これらは写真として保存しておく）

を入れておいてください。そうすることで将来、自分が高校生活でどのような活動に取り組み、課題をどう乗り越え、それを通してどんなマナビを得たかを表現できるようになったり、振り返って気づいたり、反省したり、軌道修正したり、また自分の強みがわかったりします。蓄積した「学びのデータ」は大学の学校推薦型選抜等で出願をする際にも役立ちます。

1. ポートフォリオフォルダーを作る

ロイロノートの資料箱のマイフォルダーを開けて、**...** からフォルダを作成を選び、「ポートフォリオ」と名前をつけるとポートフォリオフォルダーができあがりです。

2. 進路指導部からの資料を見て、その後ポートフォリオに入れる

- ①ロイロノートの資料箱の学内共有の 進路指導部→配信物 に資料が入っているので、必要なものをタップして、「使う」を押して画面上におく。これで資料がみられます。
- ②取り出したファイルを資料箱に入れると、保存先を聞いてくるのでマイフォルダー→ポートフォリオとして保存する。

3. カメラで撮った各種資料もポートフォリオに入れる。

- ①ロイロノート内のカメラを使って写したい物を撮る。
- ②右下の「使う」を押すとカード化されるので、資料箱→マイフォルダー→ポートフォリオで保存ができる。
注：i P a d の内蔵カメラで写した場合は、ロイロノートのマイフォルダー内のポートフォリオを開き、**...** からアップロード、写真を選択、先ほど撮った写真を選択し、「追加」を押してアップロードしてもできます。

4. 必要なインターネット等の画面があればポートフォリオに入れる

- ①電源ボタンとホームボタンを同時に押してスクリーンショットとして保存する。
- ②マイフォルダー内のポートフォリオを開き、**...** からアップロード、画面を選択、先ほど撮った画面を選択し、「追加」を押してアップロード。

これで、当初の目的は達せられると思います。ポートフォリオフォルダーを有効に使ってください。